

第三部 内定者の官庁訪問 体験記

このコーナーでは、経験しなければなかなか実体が掴めない官庁訪問の様子をお伝えします。後半に内定者の座談会も載せていますので、訪問前のイメージトレーニングには是非お役立て下さい。

なお、掲載している情報はあくまで H27 年度官庁訪問における経験に基づき、内定者の視点から語られたもの であり、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は 以下と異なる可能性があります。詳細はご自身で各省庁にご確認下さい。

※体験記は座談会形式の為フランクな文体ですがご容赦下さい。※

－ 環境省の官庁訪問（総合職試験）の簡単な流れ －

官庁訪問初日約 10 日前 国家公務員総合職採用試験 合格発表

↓

官庁訪問前 環境省の HP を確認する。環境省官庁訪問申込票をダウンロードし、記入する。

↓

9:30 官庁訪問申込票を持参して環境省へ。受付終了後は控え室で待機します。

↓

面接数回行われます(人によってまちまちですが、それほど遅くない時間に解放されます!)

－ 環境省の官庁訪問（総合職試験）の面接 －

面接は人によって違いますが複数回行われます。面接では官庁訪問申込票を元に質問をされたり、自己 PR を求められたりします。また説明会では聞けないような具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができます。時間は 1 回 30 分から 1 時間程度です。面接に呼ばれるまで時間がかかりますので、その間は控え室で他の訪問者や職員の方と話したり、ノートと見返したり、寝ていたりして面接に備えましょう。

－ 環境省の官庁訪問（総合職試験）の服装 －

男女ともにほとんどの人がスーツを着用していました。しかし平成 27 年度の官庁訪問(8 月 5 日～8 月 18 日)はクールビズ期間中で軽装が推奨されています。長袖シャツの袖をまくる人や、半袖シャツやポロシャツを着てくる人もいました。冷房が苦手なジャケットを羽織る人もいました。体調管理に気をつけて、無理のない格好でお越しください。

一 環境省の官庁訪問（総合職試験）の体験記(座談会) 一

-----総合職試験に見事合格！それで、官庁訪問って実際どんな感じ？-----

【官庁訪問前に準備した事は何か？】

よっと：僕は元気です！w

森ガール：もっと喋れ！w

インダノン：元気だけ？w

よっと：わかりやすく喋るために自分の考えをまとめること、宿を探すこと、省の HP を見ながら喋るネタを探すことをしていました。聞きたいことがないかのメモもとっていました。

からあげ定食：他には何があったかな？

梟：ペン・筆記用具・印鑑・・・とか？

よっと：宿を探すことが大変でしたねー。

えび：宿はいくらぐらいだった？

よっと：親戚の家に泊まっていたのでかかってない。ただ、泊まれるかどうかわからなかったし、受かってから決めたよ。

えび：俺はネットで・・・。東京・おしゃれ・宿で検索した w

一同：おしゃれだった？w

えび：めっちゃおしゃれだった www

梟：あと夏服用意したかなー。長袖しか持ってなかったから。

男性一同：俺も買ったー。

よっと：スーツから買ったよ。

からあげ定食：ES(官庁訪問申込票)の作り込みはしたよね。

インダノン：想定質問集とか準備した。

からあげ定食：一週間ぐらい前から欲しい質問をリストアップして、それが来るように ES を作った。リアルな話をしてもうた、やってもうた w

実は眼鏡：民間就活している人はそこで得た話とかまとめたかな。

梟：私は他の省庁を志望した理由とか、自己 PR とか用意しました。

【官庁訪問全体の印象はいかがでしたか？】

インダノン：長い、疲れた一。あと控え室で音楽かかっている。

梶：先輩がいろんな話してくれるよねー。

よっと：うちわあったな。

インダノン：うちわは6人テーブルに5本しかなかったよね w

からあげ定食：控え室にお茶とお菓子が用意されていた。

森ガール：控え室はしゃべりやすかったし、楽しかったよね。

よっと：他の省庁より話しやすかった。

梶：面接はそんな遅くまでかからなかったよね？

インダノン：いや、こめっちゃ遅かった。夕方まで掛かった。

梶：早く来た人が早く帰れない？

インダノン：俺の座ったテーブルが悪かったのか・・・

えび：日が経つにつれて徐々に相手(面接官)の年齢層が上がっていった。

森ガール：そんなでも・・・

インダノン：いや、そんなでもあったね。第1クール1日目はずっと1桁年目の人だった。他の省庁は年下の人もけっこういた w

インダノン：面接場所は、相手の職場の席のところにくっついたり、職場の中にあるテーブルでやったり、いろいろやったよね。

よっと：会議室のブースでの面接が多くて、みんなにブース君って呼ばれていた。

からあげ定食：ブースの方が元気出るタイプだもんね！梶：他の省庁だとがっつり面接室でやったけどねー

森ガール：私、原課面接としてカフェで1回面接したよ。来年はもうないかも。

【官庁訪問全体で失敗した/苦勞した点は何ですか？】

実は眼鏡：高層用エレベーターが工事中で、初日遅く着きすぎて、エレベーターが混んでいた。受付は22階だったけど、えびと一緒に中層用エレベーターの止まる19階から階段で登ったよ。

インダノン：私1時間前に来たから、1番前のテーブルだった。

よっと：40分くらい前に来て、2つめのテーブルだったな。

からあげ定食：俺たぶん1番最初で、1時間前だわ。俺が来たとき、前に待っている人が全員自然系だった。自然系は先着順で20人らしい。

よっと：環境省でしている政策をきちんと知らなかったから、調べていくように言われた。

森ガール：他省庁を回りすぎたのが失敗だったな。

インダノン：せっかくだし行って面接練習したらいいよ。

よっと：心構えもできるしね。

インダノン：面接の厳しさの意味で楽だった省もあったよ。

白目：他受けたところは大変だったな。

からあげ定食：ある省庁は面接が楽すぎて逆に行きたくなくなったな。

一同：ストイック・・・。

白目：ES に志望順位に環境省って書かなくて大変だった、俺。それでも受かります！w

梟：志望順位はかなり聞かれるよね。第一志望っていうと圧力がきつくなるから、開き直って正直に話してもよかったかも。

からあげ定食：実は3日目の所が一番志望度が高かったけど、落ちた。途中、民間面接で抜けたのが良くなかったなあ・・・。一回面接少なくなったし。

よっと：第1クールで慣れたら、比較的ポンポン進めたので、始めから全力が大事。

梟：説明会で顔見知りになるのは大事だと思う。

インダノン：環境省はそうでもない？

森ガール：ある所は説明会の時点でもう決まってるって噂もあるね。

インダノン：環境省は説明会にそこまで行っても意味ないのかなと思った。

梟：私は重要だと思うけどなあ。面接の時に「あの時来てくれたよね？」って言われたし、採用補佐にも会ったし、印象に残った説明会は？って面接で聞かれたし。

森ガール：採用にプラスになるかは不明だけど、自分の進路を決めることを考えると行った方がいいよね。

実は眼鏡：面接官の名前全部覚えたな。

森ガール：そう！覚えるの大変だった。全員覚えてた！

一同：さすが・・・！

よっと：俺途中で、それまでに会った面接官の名前を相手に見せたよ。

インダノン：簡潔に自己紹介してって言われて、30秒くらいでしたら、短すぎるよって言われた。あれは落ちたかと思った。

えび：会話を繋げるの大変だった。

一同：え、そんなに！？

森ガール：それはダメ。

えび：質問に答えてもらってる最中に次の質問を考えてた w

一同：だから話が続かなかったんじゃ・・・w

梟：あと面接直前、喉がめっちゃ乾いて困った。緊張する人はペットボトルのお茶を持った方がいいかも。

からあげ定食：第3クールは緊張した。

インダノン：第3クールの面接は緊張したよね。

森ガール：第3クールは第一志望を決めるのに困った。民間とすごい迷ったから・・・

インダノン：第1クールの回る順番は難しいよね。

インダノン：皆、実際大きな失敗はないと思う。してたらここにいないしね。

からあげ定食：民間の内定も持ってたけど、第1クール中に結論出せて言われて断った。

梟：私は第2クール中にそれあった。1日目に民間行って、2日目環境省行って、3日目に民間の最終面接だった。18日が終わるまでは内定持ってたけど、環境省に内々定をもらった時点で電話して辞退した。

からあげ定食：俺は待ってくれなかったなあ。

森ガール：第1クール終わった時点でだいたい省庁の手応えがわかるから、その時点までは内定持つとく方がいいと思う。

【環境省で印象に残ったやりとりはありましたか？】

よっと：面白かったことを3つ言って下さいって言われたw

えび：政策について今から話すから、その間に一個新しい政策を考えて、俺が話し終わったら言ってって言われた。

インダノン：そんなことなかったなあ。

よっと：俺もそんなことなかった。

えび：俺ももうこの人と喋りたくないと思った。なんやねんそれってwあと地球温暖化ってどう思う？って聞かれた。

インダノン：確かに抽象的なこと聞いてくる人居たなあ。1日目の最後の面接がそれだった。

えび：日本の地球温暖化問題とかどう思う？とか。

よっと：あーそんなのあったねえ。

白目：表面的な知識じゃなくて、そこに対して自分がどういう考え方を持っているかをちゃんと持っていないとね。

梟：すごく矢継ぎ早に質問されたこともあった。

インダノン：俺最初に、「じゃあ今から圧迫するからよろしく」って言われて、「自分の研究をお金もらえるように3分で話して」とか話した内容を全否定されたとかあったよ。

えび：わかりやすく素早く簡潔に答える能力って必要だね。

梟：研究でいかにしてお金を取るかって結構聞かれたな。

インダノン：博士課程だとそういうの聞かれるのかもね。研究している人に対して聞くのかも。多分子算を取ってくることと関係しているだろうね。研究のことを聞かれた時は、お金と絡めて答えさせられた。

森ガール：修士はそんなことなかったよね。

よっと：俺、全然聞かれなかった。

森ガール：学部卒だからじゃない？

よっと：たぶん俺部活のことばかり。

からあげ定食：俺部活のこと ES に書いてたからめっちゃ聞かれたー

森ガール：書いた内容の量の通りに聞かれるのだろうねー

インダノン：ES ってやっぱ超重要だね！

【環境省の面接中に困った質問はありましたか？】

からあげ定食：あなたがインドの首相だったらどうするか？とか。

一同：なんでインド！？

からあげ定食：温暖化の話で、京都議定書に米中が入ってないけどインドも排出量が多いから、そこも巻き込まないといけないよねって話から。

実は眼鏡：環境省の政策をどうやったら広めていけるかも聞かれたな。

インダノン：どうやったらみんな環境を好きになるかなって聞かれた。まあ俺 ES に書いたからね。

森ガール：相手から何の脈絡もなく質問はこないよね。

よっと：ES に書くか話したことから質問はくるよ。

【環境省の訪問前後のイメージに変化はありましたか？】

森ガール：みんな優しくなったよね。

梟：あんま変化なかったかも。規制ばっかじゃないんだなっていうのは思ったよね。

インダノン：そこだけは説明会で聞いて頭に入れといた。説明会でここ重要って言われたから・・・

よっと：なんでもすぐに規制をするってだけじゃなくて相手の企業、団体のことを考えてどうすれば損失を少なくできるかっていうことを考えて相手の立場に立ってすごく考えていると感じました。あと、新しいことにチャレンジしていく姿勢がすごく印象に残った！

インダノン：環境省職員は環境に対して熱い気持ちを持っているなあと漠然と官庁訪問前は思っていたけど、官庁訪問を経て熱い気持ちではなくてみんな信念として持っていると思った。自分も持たなきゃなとも思った。

いかがでしたか？

第三部では、内定者の官庁訪問の実体験をお届けしました。官庁訪問には一人ひとり特別なストーリーが生まれるもの。国政に携わりたいという方！ご健闘お祈りいたします。